事務事業評価(令和6年度決算) 事業一覧

所属名 環境下水道部環境対策課 所属コード 94100

番号	事業名	R6決算 事業費(千円)
1	一般廃棄物埋立処分業務委託事業	43
2	ふれあい収集事業	16
3	粗大ごみ処理券管理業務委託事業	8,184
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

令和6年度決算 事務事業評価書

所属	環境下水道部環境対策課
会計	一般会計

事務事業名	一般廃棄物埋立処分業務委託事業		
第6次総合基本計画における位置づけ	施策25_環境	主な取組	1. ごみの減量化・資源化・適正処 理の推進

	自的	エビデンスに基づく必要性 (背景や現状、課題からの必要性)	みの受入れを行っていま しかし、市民の方から如	分方法がわからずに困っているとの声が一定数ある。
概要		目 標 (事務事業の目指す方向性)		目的として、大阪湾広域臨海環境整備センターと新たに不燃物の処分契約を締結し、これら
		実施内容	コンクリートブロック、レ を市の粗大ごみとして受り	ンガ、瓦等の大阪湾広域臨海環境整備センタ―で埋立処分が可能な不燃系の処理困難物 け入れるもの。
		期間	継続的事業	令和6年度~

	令和6			事業費の内訳	
	予算	決算		令和6年度 決算	
			委託料	その他委託料	43
事業費	48	43			
(単位:千円)					

今後の
事務事業の
方向性
(行革担当)

継続

コンクリートブロック、レンガ、瓦等の処理については市民のニーズも高いため、引き続き事業を継続する。

令和6年度決算 事務事業評価書

所属	環境下水道部環境対策課
会計	

事務事業名	į	ふれあい収集事業	
第6次総合基本計画における位置づけ	施策25_環境	主な取組	1. ごみの減量化・資源化・適正処 理の推進

	目的	エビデンスに基づく必要性 (背景や現状、課題からの必要性)	題を抱える事例が近年増 が実施されている。今後	この進展に伴い高齢者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しに課意えているため、多くの地方自治体においては高齢者のごみ出し支援(「ふれあい収集」等) も高齢化社会に伴った福祉事業の需要は今後数十年にわたり続くと見られ、全国の地方公廃棄物処理体制から高齢化社会に見直されている傾向にある。
根		目 標 (事務事業の目指す方向性)	しながら、高齢者世帯の	集を基本としているため、狭隘路に面した世帯のみがごみの集積場所を利用している。しか 増加により、家庭から排出されるごみを自ら集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障 住み続けるよう、ごみの排出支援を実施するもの。
		実施内容	・(市)サービス対象者の ・(委託)各家庭から排出	申請受付、支援可否の決定されたごみの収集運搬
		期間	継続的事業	↑ ↑ \$\phi\$ \$\p

	令和6			事業費の内訳	
	予算	決算		令和6年度 決算	
			委託料	委託料	16
事業費					
(単位:千円)					
(4)2 · 113/	1,370 16	16			

0.44
今後の
事務事業の
争物争未り
方向性
(行革担当)

継続

制度の周知に努め、引き続き事業を継続する。

令和6年度決算 事務事業評価書

所属	環境下水道部環境対策課
会計	一般会計

事務事業名	粗大ごみ処理券管理業務委託事業			
第6次総合基本計画における位置づけ	施策25_環境	主な取組	1. ごみの減量化・資源化・適正処 理の推進	

	目的	エビデンスに基づく必要性 (背景や現状、課題からの必要性)	ごみ処理券販売店舗で則舗とのやり取り等を行って	
概要		目 標 (事務事業の目指す方向性)	更なる事務の効率化を	目指し、当該業務の民間委託を行うもの。
	実施内容		・粗大ごみ処理券販売店舗へのごみ処理手数料の請求及び徴収業務・和大ごみ処理手数料の納付業務・市へのごみ処理手数料の納付業務	
		期間	継続的事業	令和6年度~

	令和6年度		事業費の内訳		
	予算	決算	令和6年度 決算		
		8,184	委託料	委託料	8,184
事業費					
(単位:千円)	0.104				
	8,184 8,				

今後の
事務事業の
方向性
(行革担当)

継続

事務の効率化に向けて、引き続き事業を継続する。